

北海道・定山溪温泉

ぬくもりのやど ふるかわ

ぬくもりの宿 ふる川

Nukumori_no_yado FURUKAWA

充実した施設と多種類の湯舟が楽しめる自家源泉の湯宿

〒061-2303 北海道札幌市南区定山溪温泉西4丁目353
TEL: 011-598-2345



温泉成分表

湯の色: 無色透明 湯の香り: 無臭

溶存物質 (ガス性のものを除く成分①+②+③の合計): 3,504 mg/kg

泉温: 64.9°C (調査時の気温 3°C) pH値: 7.2 (中性) ※7.5以上で弱アルカリ性

湧出量: 約160リットル/分

一人あたりの温泉利用量 (湧出量/収容人数): 約1.07リットル/人 ※最大収容人数150人
※源泉かけ流しの必要条件・浴槽管理に必要な温泉量は、入湯客1人当たり1リットル/分以上(「源泉湯宿」より引用)

温泉の成分 (源泉 1kg 中に含有する分量)

陽イオン	mg/L	mg/L	mg/L%	陰イオン	mg/L	mg/L	mg/L%
水素イオン (H ⁺)	-	-	-	ふっ化物イオン (F ⁻)	0.5	0.03	0.06
ナトリウムイオン (Na ⁺)	943.3	41.03	80.17	塩化物イオン (Cl ⁻)	1623	45.78	87.47
カリウムイオン (K ⁺)	144.8	3.70	7.23	硫酸イオン (SO ₄ ²⁻)	-	-	-
アンモニウムイオン (NH ₄ ⁺)	0.3	0.02	0.04	硫酸水素イオン (HS ⁻)	0.0	0.00	0.00
マグネシウムイオン (Mg ²⁺)	6.8	0.56	1.09	チオ硫酸イオン (S ₂ O ₃ ²⁻)	0.0	0.00	0.00
カルシウムイオン (Ca ²⁺)	117.0	5.84	11.41	硫酸イオン (SO ₄ ²⁻)	87.2	1.82	3.48
アルミニウムイオン (Al ³⁺)	-	-	-	炭酸水素イオン (HCO ₃ ⁻)	286.6	4.70	8.98
マンガンイオン (Mn ²⁺)	0.9	0.03	0.06	炭酸イオン (CO ₃ ²⁻)	0.3	0.01	0.02
第一鉄イオン (Fe ²⁺)	0.1	0.00	0.00	リン酸水素イオン (HPO ₄ ²⁻)	-	-	-
第二鉄イオン (Fe ³⁺)	-	-	-				
計①	1213	51.18	100.00	計②	1998	52.34	100.00
非揮発成分		mg/L	mg/L	溶存ガス成分		mg/L	mg/L
メタケイ酸 (H ₂ SiO ₃)	114.4	1.46	逆酸二酸化炭素 (CO ₂)	34.5	0.78		
メタホウ酸 (H ₂ BO ₃)	173.4	3.96	遊離硫化水素 (H ₂ S)	0.0	0.00		
メタ亜硫酸 (HA ₂ O ₂)	4.7	0.04					
計③	292.5	5.46	計④	34.5	0.78		

その他微量成分
アルミニウム、亜鉛、鉛、カドミウム、総水銀、腐植質、検出せず
銅: 0.026mg/kg、リン酸: 0.016mg/kg

※適応症・禁忌症に関しては、平成26年7月改正の「鉱泉分析法指針」に準拠しています。宿よりデータを提供して頂きました。

この泉質ならではの浴用の適応症 (平成26年7月1日改定)

きりきず、末梢循環障害、冷え性、うつ状態、皮膚乾燥症

浴用の一般的適応症 (平成26年7月1日改定)

筋肉若しくは関節の慢性的な痛み又はこわばり (関節リウマチ、変形性関節症、腰痛症、神経痛、五十肩、打撲、捻挫などの慢性期)、運動麻痺における筋肉のこわばり、冷え性、末梢循環障害、胃腸機能の低下 (胃がもたれる、腸にガスがたまるなど)、軽症高血圧、耐糖能異常 (糖尿病)、軽い高コレステロール血症、軽い喘息又は肺気腫、痔の痛み、自律神経不安定症、ストレスによる諸症状 (睡眠障害、うつ状態など)、病後回復期、疲労回復、健康増進

この泉質ならではの浴用の禁忌症 (平成26年7月1日改定)

なし

浴用の一般的禁忌症 (平成26年7月改定)

病気の活動期 (特に熱のあるとき)、活動性の結核、進行した悪性腫瘍又は高度の貧血など身体衰弱の著しい場合、少し動くと息苦しくなるような重い心臓又は肺の病気、むくみのあるような重い腎臓の病気、消化管出血、目に見える出血があるとき、慢性的病気の急性増悪期

飲用の適応症

不可

分析日 (上記の温泉成分表は下記機関の調査データより引用)

平成24年2月16日 (北海道立衛生研究所)

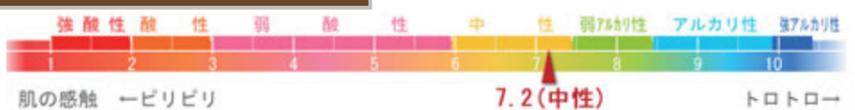
温泉の言い伝え/その他

伝承による効能: 神経痛、筋肉痛、疲労回復、切傷、火傷

この湯に浸かった歴史上の人物: 修験僧・美泉定山 (1805年~1877年)

この湯に浸かった著名人: 多数の文化人・芸能人が訪れているがプライベートの為不記載

水素イオン濃度 (pHペーハー)



肌への感触: 一言コメント: ポカポカ温まる肌に嬉しい温泉

泉質名: ナトリウム-塩化物温泉

(低張性 中性 高温泉) (旧泉質名: 弱食塩泉)

源泉率: 100%

湯の入替: 大浴場は2日に1回、他の浴槽は1日に1回

源泉の湧出状況: 2つの自家源泉 (自然湧出) を混合して使用

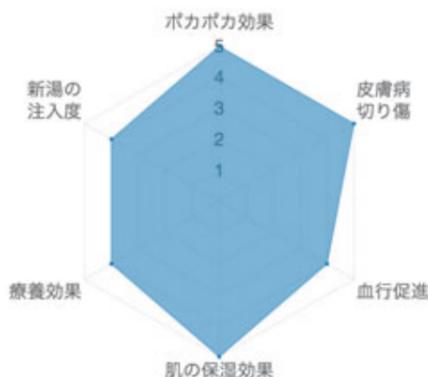
引湯方法: パイプで引湯

源泉から湯舟までの距離: 100m程度 (敷地付近で湧出)

温度の調整方法: 加温して調整
源泉かけ流しのお風呂は注ぎ入れる源泉量を調整して温度を調整

飲泉: 不可

温泉力チャート (5段階評価)



美肌の湯 4要素

該当数 1

※保湿成分であるメタケイ酸を豊富に含むので特別枠「その他」で該当数1

肌の美白効果	肌のなめらか効果	肌の蘇生効果	肌のつるすべ効果	その他
硫黄泉	炭酸水素塩泉	硫酸塩泉	(弱)アルカリ性	メタケイ酸

温泉レポート (文・温泉&旅 倶楽部事務局 大竹央将 / 温泉&宿 コンシェルジュ 大竹 仁一)

「ぬくもりの宿 ふる川」は客室数が50室の比較的大きな施設。最新の機器を使用した水素風呂から、源泉100%かけ流しの露天風呂まで老若男女を問わず生粋の温泉好きから施設の充実を重要視する人まで広く満足できるのが大きな特徴だ。源泉は2つで、自家源泉。敷地付近で自然湧出している。自然湧出とは機械を使用して汲み上げなくても、温泉が地上へ湧出しているということ。源泉溜まりが地表に近いからなせる業だが、その分不純物が混じる確率は低く、温泉成分が濃いとも言える。

日本各地に温泉があるが、自然湧出の温泉はごく少数。昔ながらの温泉の姿がここにある。湧出場所から湯船までの距離が100m程度と近いことも見逃せない。湧出した源泉を新鮮なまま体感できるのは温泉好きには嬉しいポイントだ。

泉質は「ナトリウム-塩化物温泉」。その名の通り、塩分を豊富に含む温泉のことだ。塩化物泉ならではの適応症 (浸かることで効果があるとされている病気・症状のこと) は①きりきず、②末梢循環障害、③冷え性、④うつ状態、⑤皮膚乾燥症の5つ。

塩分には殺菌作用があるので、塩化物泉に浸かることで肌表面のトラブルに広く抑える効果がある。そのため「傷の湯」と言われることがあり、①きりきずが適応症として認められる。

また、塩化物泉は「温まりの湯」または「熱の湯」と言われることがある。源泉中の塩分が肌に付着し皮膜を形成し、この皮膜が湯上がり後もバックのように働いて汗腺を塞ぐので、発汗による体温低下を防ぐからだ。保湿効果がとても高く、ポカポカする状態が長続きするため、②末梢循環障害・③冷え性が適応症として認められる。④冷え性は他の泉質でも適応症として認められるが、塩化物泉は特に効果が高いと考えられる。

この温泉バックは湯上がり後の肌の乾燥も防ぐので⑤皮膚乾燥症の適応症としても効果が高いと言えるだろう。この塩化物泉は、溶存物質の量は多いが、肌への刺激はそれほど大きくなく、また、水素イオン濃度はpH7.2でほぼ中性なので、肌への刺激が小さいのが特徴。

そして、④うつ状態が適応症として認められるのもこの柔らかい泉質のためだろう。

さらに、泉質名には現れていないが「見逃せない成分」が含まれている。

そのひとつがメタケイ酸で、源泉1kgあたり114.4mg含まれており、これは温泉の基準値 (50mg/kg) の2倍以上含まれている。メタケイ酸は一部の化粧水の原料として使われるなど、保湿作用がある。メタケイ酸が多く含む温泉は、いわゆる美肌の湯と言ってもいいだろう。

メタホウ酸も173.4mg/kgと温泉の基準値 (5mg/kg) の34倍以上、豊富に含まれている。メタホウ酸は肌の洗浄作用があるため、ニキビ等、皮膚表面のトラブルに効果があると考えられている。

陽イオンにも注目しよう。144.8mg含まれているカリウムイオンは、神経信号の伝達や細胞内浸透圧の調整に効果を発揮する。具体的には手足の痙攣の緩和が期待できるだろう。

また、117.0mg含まれているカルシウムイオンには鎮静作用があり、血圧を下げたり、身体の色々な痛みを和らげたりする効果がある。

陰イオンを見ると、炭酸水素イオンは、ナトリウムイオンと結びつくことで「重曹泉」となる。重曹泉は、まるで石鹸のように、古い角質を洗い流してくれる作用がある。要するにクレンジングの湯である。炭酸水素イオンが含まれていることは美肌の湯の条件のひとつである。

この宿のお風呂の多くは、源泉かけ流し方式を採用しているが、男女別大浴場の内風呂など、一部は循環ろ過・塩素消毒が施されている。

その理由は、たくさんある浴槽に対して、源泉の量が充分ではない事もあるが、主に衛生面の問題だろう。源泉かけ流し信仰を持つ温泉ファンは少なくない。

その前提は、豊富な温泉が湯舟に注がれ続け、1時間あまりで浴槽の温泉が新しい温泉に入れ替わるのが理想なのだが、実際そのような源泉量を持つ宿は、おそらく全国的に見ても1割もないだろう。

一番入浴回数が多いと思われる広い大浴場の内風呂は、その点を考えての循環ろ過なのだ。逆に、貸切風呂など限られた人が入浴する湯舟では源泉かけ流しにするなど、考えられている。

源泉かけ流し派の方から、施設重視派の方まで、幅広く満足させてくれる仕掛けが行き届いている。この工夫が、いわゆるおもてなしであり、この宿の名前にも入っている「ぬくもり」を感じられるポイントなのである。